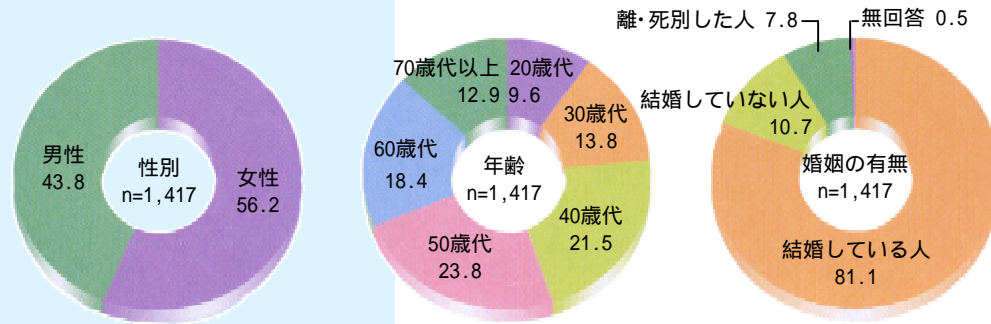


1 アンケート調査概要

- **調査目的**：宮崎県における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画施策の一層の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施しました。
- **調査対象**：宮崎県在住の20歳以上の男女3,000人（男女各1,500人）
- **調査時期**：平成12年9月
- **有効回答数**：1,417人（有効回収率47.2%）
- **回答者のプロフィール**



2 家庭生活に関する意識と実態

子どもや親の世話は「夫婦が同程度分担」、家計を支えるのは「主に夫」が理想

子どもや親の世話については、実態と比べて「夫婦が同程度分担」することを理想とする割合が高く、全体の6割を超えています。一方、高額商品や土地・家屋の購入決定、および家庭問題における最終決定については、実態より「夫婦が同程度分担」することを理想とする割合が高くなっていますが、「主に夫」が行うことを理想とする割合も4割を超えています。

家事や家計の管理についても、実態より「夫婦が同程度分担」することを理想とする割合が高くなっていますが、「主に妻」が行うことを理想とする割合が7割を超えています。また、家計を支えるのは、理想と実態ともに「主に夫」が行うことを支持する割合が約8割と高くなっています。

= 夫婦の役割分担の実態・理想 =

